

先輩から学ぶ ～卒業後の人生設計～

校長 西尾 英憲

11月15日に丸重製紙企業組合理事長 辻晃一さんをお迎えして3年生がSDGsについて学びました。ゲームを通して、誰もが快適な環境のもと経済的に繁栄し、安心安全に生活していけるようにするには、どうしたらよいかを考えました。今だけ、自分のことだけの狭い視野では、問題を大きくし自分を含めた多くの人を苦しめること、思いや願いをもって行動することが必要なことに多くの生徒が気づいたようです。(写真①)

11月18日に3年生は進路説明会を行いました。ここから卒業後の進路を決定していくことになります。進路を決めるにあたり本校では、夏休み前から様々な高校について学ぶ機会を設けてきました。

あゆみでは、阿木高校と恵那南高校の見学を行いました。通学時間に合わせて列車に乗りし高校へ行きました。見学先の高校では、実習や特別教室の様子などを見せてもらいました。パンフレットでは、分からない学校の雰囲気を感じることが出来ました。(写真②)

3年生は、恵那、坂下、恵那農業、中津商業の各高校の生徒さんに中学校へ来てもらい、高校の学習や生活について話してもらいました。写真③は、恵那高校の生徒さんが来たときの様子です。普通科と理数科の違いや高校生活に向けて今から準備しておくことなどを、自前の資料をもとに説明してくれました。写真④は中津商業の生徒さんが来た時の様子です。本校の卒業生が、コーディネートして商業の授業体験をさせてくれました。会計実務に関わる用語を使った授業に、生徒たちは科やコースの違いによって授業そのものが変わることを実感したようです。また、高校の先輩たちと実際に接することで、将来の自分の姿をイメージした子もいたようです。写真⑤は、体育館で行った高校説明会の様子です。中津、中津川工業、恵那南、阿木の各高校が、それぞれの学校の特色ある活動を紹介してくれました。生徒達は、夏休みの高校見学、秋のオープンキャンパスなどに参加して、志望校の検討を重ねてきました。

学校では生徒たちに、「どんなことがやりたいか」「どんな生活をしたいか」を問いかけています。答えに迷う子がほとんどです。ぜひ、生徒に進路をどう決めたのかなどご自身の体験談とともに、生徒の話をよく聞いて頂きたいです。話すことで気持ちの整理が付いたり、隠れていた思いに気づいたりします。その対話が生徒の踏み出すエネルギーになります。

